

9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

養浩堂藏書

早稲田大学図書館
文書 27
B 51

廿五年一月二日黒田信忠訪

此度島津久家率族より列年事らるるに小松
高藩頭常の持者對列執成の内議を起す交
黒田の若菜と小松と鹿見島と於て以て地を
人より人物を以て西郷大久保兩人の卓抜勤
切に比ぶるに初め丁卯の秋西郷薩藩より
最期に兵を率じて上流の地を徵す小松の因循
誤事と察し小松を鹿見島を遣り為守者
と爲り伏水の役畢りて故小松を去るせしめ
たつた之間の事柄ありしを多しなるに小松

小松藩の成辰
伏見の戦終り
上京せり

養浩堂藏書



あつちの華族の列せり。時任殿と指しらる。六宮番
あり子爵の書あり。於伊集院の書あり。酒政の書
あり。重役の勅あり。子爵を呼んで澄明せんとし
申す。伊集院兼寛子入丹七也。其の真末と説
けり。此の山松家授爵あり。子爵の書あり。其の
事の内法し。此の黒田の趣意と以。岩倉
公曾の書あり。謀善の書あり。此の淡島あり。九時頃
御定

言

岩倉局長の山松家下系。此の山田の書あり。

書牘の贈り物。返るるなり。

持談陳の書。面之趣意。細おのり。

明書。對身。會の書あり。

由冬内。此の書。推察。作の書あり。此の書あり。

城の書あり。此の書あり。此の書あり。此の書あり。

得書。此の書あり。此の書あり。

了日。言。岩倉局長の書。

岩島城の書。

言

新年宴會酒饌之時、午前十時、早子美内
侍從職之侍、山久、面會、政、多、細、山、黑、田、宅
之、話、幸、少、相、書、行、身、後、政、多、細、承、取
之、政、幸、

書行大略

誠下、陳述

二十五年一月二日、夕、於、黑、田、伯、魯、宅、伊、集、院
子、爵、一、回、相、談、取、小、松、亭、為、頭、節、乃、特、旨、奉
族、列、法、作、身、度、子、細、下、卯、秋、西、郷、大、久、保、向
入、薩、麻、子、兵、隊、と、率、以、上、京、ま、り、あ、り、
小、松、亭、の、留、守、為、り、為、一、伏、事、事、濟、の、出

京中、の、事、々、斷、事、情、若、く、仍、り、子、爵、を、授
け、ら、る、事、為、然、り、事、々、法、議、政、幸、

取、極、機、密、の、事、々、念、下、思、用、の、事、々、中、乃、り、為、批
取、前、乃、の、通、因、極、及、事、

樂天長言齋雜記

庚子年十月三十日

訖